

令和5年度河川等の散乱ごみ状況調査業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和5年9月27日16時から17時まで
2	場 所	書面審査のため、各委員持ち回り
3	出席委員	環境県民局環境保全課長 秋山 日登美 環境県民局環境県民総務課長 杉山 浩紀 環境県民局循環型社会課長 石田 陽子 環境県民局産業廃棄物対策課長 河村 敏成 広島県立総合技術研究所保健環境センター次長 山根 早百合
4	議 題	令和5年度河川等の散乱ごみ状況調査業務公募型プロポーザル選定について
5	担当部署	環境県民局 環境保全課
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基に書面審査を行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者 復建調査設計株式会社 広島支社</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び評価基準に基づく評価項目別の総合値のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p>ア 最優秀提案者 復建調査設計株式会社 広島支社</p> <p>イ 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過年度調査と同様の調査手法を用いており、調査結果について、十分な比較検討が可能である。 ○類似業務の実績、成果については高い評価に値する。 ○提案者は類似業務を適切に履行した実績があり、過年度調査を踏まえた継続的な調査の遂行が期待できる。 ○河川ごみの実態把握について、現実的な方法であり、精度が確保できるとともに、過年度とも比較できることから優れている。 ○海ごみ関連の調査について豊富な実績がある。